



わらしべの里通信



「東日本大震災」に思う



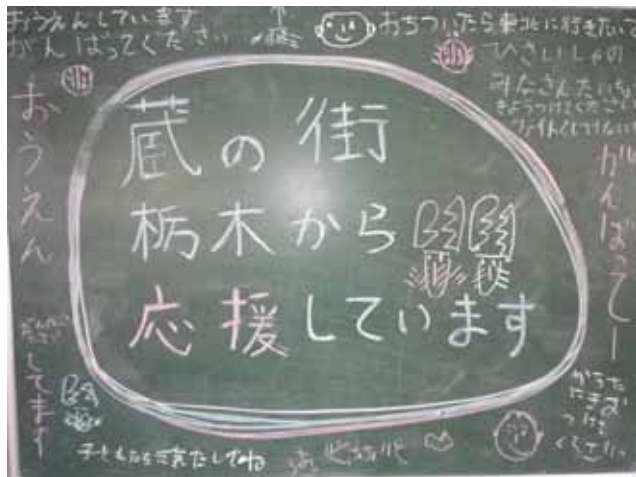
3月11日午後3時ちよつと前に、地震が起きました。徐々に大きくなり、作業中断。栃木市は翌日の午前2時まで停電でした。

今回の「東日本大震災」

は、三陸沖から茨城県沖にかけての太平洋沿岸で、巨大な岩盤がずれて地震になり、大きな津波が起きました。一瞬にして、何万人もの人たちが亡くなりました。改めて家族のありがたさ、大切さを感じました。

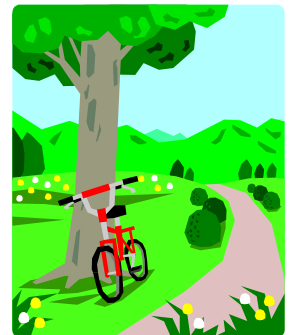
わらしべの里でも給食が作れなくなるという影響が出て、3月15日から1カ月間お弁当を持参したり、福島第1原発の事故の影響を考慮し、午後3時には家に帰る生活を3月15日から2週間続けました。

この2週間が特に、電力不足を補う「計画停電」が頻繁に行なわれ、わらしべの家でも、リサイクル事業やIT事業などの作業は、電気をを使うため、計画



黒板に、書かれた東日本大震災の被災者に向けたメッセージ。

停電の時間帯は停止していましたが、どんなことでも、被災された地域の皆様の復興に繋がるなら...。4月になり、余震は減つて来たけれど、まだ大きなゆれがあります。わらしべの家でも1ヶ月に1回避難訓練をしているの



~ 蔵の街栃木から、応援しています ~

で続けて行きたいと思いたいです。計画停電もいったん中止され、わらしべの家の活動も通常どおりになりましたが、東北地方の方は何日、何ヶ月、何年...どのくらい避難生活が続くのだろうかと思うと心が痛いのです。特に東北地方にいらっしゃるであろう障害を伴った人、元氣かなと心配しています。わらしべの里ホームページに掲載してある絵を見て、和んでいただけたらいいなとも思います。

最も電気をを使うのは夏なので、どう乗り越えていこうかなあと考えています。僕らができるのは無駄な電気をこまめに消すだけでも節電になります。僕らも普段どりの生活の中で、節電に協力してこの夏を、2011年を乗り越えたいと思います。(P O R I ・混む)



夢のクローバーとウサギ



春のひととき



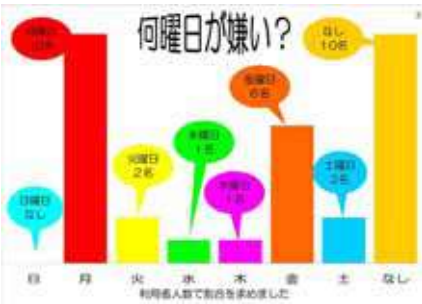
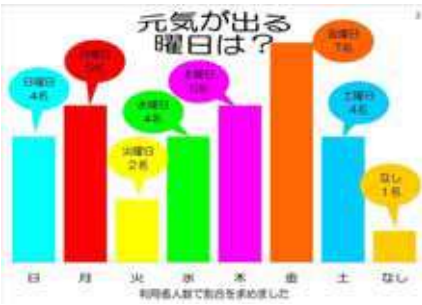
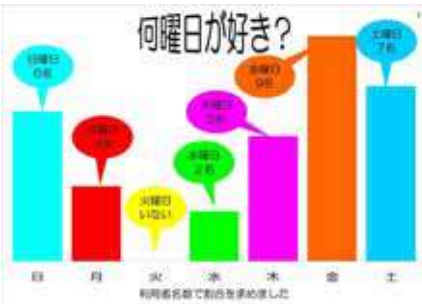
「今年のテーマは、「何曜日が、好き？」

利用者の人数で、割合を求めました



質問内容は・・・
 何曜日が、好き？
 元気が出る曜日は？
 何曜日が、嫌い？
 何曜日のテレビ番組が好き？
 あなたの元気の“もと”は？
 平成22年度のわらしべの家
 で印象に残っていること
 『今、思っていること』や、
 『考えていること』以上7点

2011年2月、パソ工房から「何曜日が、好き？」をテーマにしたアンケートが仲間配られました。そう、仲間から「テレビ局、新聞社の世論調査みたくて、うれしい」、「質問に対して、自分の意見がいろいろから、うれしい」と評判をいただいている「ほのぼのアンケート」の時期がわらしべの家に来てきたのです。結果を集計しはじめ今年で、5年目。小さな節目に、「継続は、力なり」と思いながら、今年も行きましょう。



わらしべの仲間たちの好きな曜日を大調査

仲間、金曜日は大好き、月曜日は苦手・・・。

1週間、日本では主に日曜日から始まりが主流ですね。わらしべの仲間には、「何曜日が好き?」「元気が出る曜日」とともに、「次の日、休みだから」という理由から金曜日という声が多かったです。仲間に聞いてみると「予想していなかった」という声が聞こえました。

好きな曜日の次は、嫌いな曜日について尋ねました。「やすみの次の日だから」という理由から月曜日という声が10人と多かったです。仲間に聞いてみると「週のはじめだから」、「自分も、同じだから」という声が聞こえました。

「何曜日のテレビ番組が好き?」という質問に仲間は、元気よく「日曜日」と答えています。テレビをジャンル別に見ても、ドラマ、アニメ、特撮をよく見ているということがわかりました。



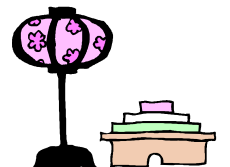
「ひな祭り会」

それぞれに相談し、色を決めて、塗り絵を楽しみました。塗り絵の後に、ひとりずつに雛あられやジュースが配られ、皆で「うれしいひなまつり」のうたを歌って今年度の仲間会の年間計画が終了しました。仲間たちに感想を聞くと、「久しぶりに塗り絵ができてよかった」や、



ひなまつり会。みんなで、塗り絵を楽しんでいます。

今年の3月3日の「ひな祭り会」では、ひな祭りをイメージした塗り絵をしました。1枚の塗り絵を各テーブルごとに配り、仲間たちは、色鉛筆やクレヨンを使って春らしい色合いを思い浮かべながら、顔の部分はピンク色、冠りは黄色、着物は赤色、この辺はオレンジ色、この当たりは何の色で染めるかな・・・とそ





清明

「ほのぼのアンケート」2011年版結果発表！

「なぜ、日曜日なのか」という質問に、多くの仲間からは、「のんびりできる日曜日だから、とことん見たいんだよ」という声が多く聞こえました。製品品質あるいは、自分自身と戦っている仲間たちが、元気でいられる「もと」は「ゲームをすること」、「お菓子を食べること」、「よく寝ること」。

「おはよう日本」を毎朝見ること。（鈴木奈穂子アナの声でニュースを聞けば、聞きやすい）と家での生活がもっともあげられ、続いて「毎日、わらしべに通うこと」、「わらしべの家で、仕事をすること」、「仲間や職員と話をする事です」と、わらしべの家でのことがあげられています。

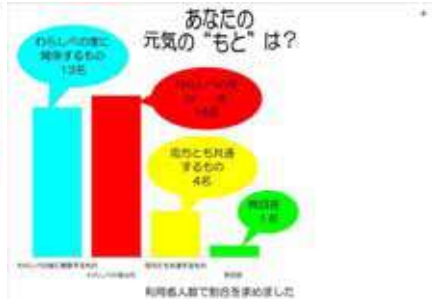
結果を誰かのせいにはしないこと

「毎日、楽しい気分でいられる、毎日を好きでいられるようにアドバイスをする」としたら？という問いに、「自分自身で、元気になるように、プラス思考に持つていけるようにする」という声がありました。プラス思考になるには、今度似たような出来事が起きた場合にはこうしよう！と考える。ま、今回は仕方ない…と笑う。結果を誰かのせいにはしないことが、大切です。皆さんも、参考にいかがですか？

思い出工場出荷量第1位は？

思い出工場出荷量第一位は？平成22年度のわらしべの家で、印象に残っていることについては、「日帰り旅行」が1位でした。アンケートをとり始めた2006年から5年連続で、思い出工場出荷量ナンバーワンを保っていることになりました。

「今、思っていること」や、「考えていること」については、「みんなと協力して一生懸命に仕事ができるようにしたい」、「これからわらしべの家に通い続けたいです。わらしべの家製品の認知度をあげられるように、平常心で取り組む」、「これからわらしべの家に通い続けたいです。今の幸せがいつまでも続く事です」などがありました。（パソ工房取材班）



3月～4月の行事

3月3日	ひな祭り
3月18日	仲間の会 誕生会(2人)
4月15日	仲間の会 誕生会(8人)
5月6日	レクリエーション
5月15日	ゆーあい工房まつり
5月20日	仲間の会 誕生会(4人)

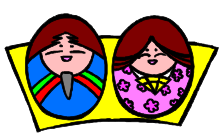
これからの行事予定

6月1日	レクリエーション
6月17日	仲間の会
6月22日	嘱託医問診
7月7日	七夕
7月15日	仲間の会 誕生会(4人)
8月5日	8月の行事予定 カップアイスを食べる会
8月19日	仲間の会 誕生会(4人)
9月2日	レクリエーション
9月16日	仲間の会 誕生会(1人)

月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を仲間の会主催で行います。

「楽しかった」、「塗り絵がきれいに塗れた」、「みんなで協力して塗り絵が楽しめたことが良かった」と話しました。

最後に、仲間の会の会長にも、無事に仲間の会の年間計画が終わったので感想を聞くと、「10月からの半年間の年間計画（現在）は、旧会長が作ってくれて計画通りに引き継いでやればよかったが、来年度から自分たちで作る事になるので、できるのかなと不安と心配があります」と話をしてくれました。（PORI）





節分、豆まき、自分の中にいる鬼に向けて。

願いをこめ、みんなで節分豆まき

「鬼は外、福は内」

鬼は、自分の中にいる」と、されていま
す。2月3日のお昼から自分の中にいるは
ずの鬼が食堂に現れ、暴れていました。食
堂でお昼を食べていた人からは「退治して
あげるから、もうちよつと待って」という
声も聞こえ、いったん鬼は消えていきまし
た。

14時45分から、みんなが食堂に集まって
いると、鬼がお昼より迫力を増して、わら
しべの家へやってきました。さつそく仲間
の会主催で豆まきを行いました。テーブル
ごとにみんなで手に豆を持ちさまざま願
いをこめ、「鬼は外、福は内」と言いなが
ら豆を鬼にぶつけました。鬼は、時間差攻
撃で、多くの豆を浴び、かなりの時間暴れ
ていましたが、最後はあきらめて、「痛
い、痛いよ」と言いながら、山の奥に逃げ
ていきました。逃げていきながら、一緒に
みんなのなかにいた鬼も外に連れ出して
くれたのか、笑顔になりました。

その後、席に戻ってこの1年間無事に過
ごせるようにと豆を食べました。仲間たち

は、「鬼に豆をたくさ
んまいたのでよかつ
た」、「楽しかった」
と、話していました。
帰りの会で、施設長
が「暦の上では、今日
までが冬の季節。明日
が立春。冬から春へと
変わりますよ」と話を
してくれました。

(混む)

● 平成23年度年間計画

5月	レクリエーション
6月	レクリエーション
7月	七夕
8月	カップアイスを食べる会
9月	レクリエーション
10月	日帰り旅行
11月	カルフルとちぎ
12月	クリスマス会
1月	新年の抱負を発表する会 (みかんを食べながら)
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り

印はわらしべの里の行事。その月に行事がある時は、「仲間の会」のレクリエーションは行いません。

♠ 会長にインタビュー



仲間の会議で、今年度の仲間の会年間計
画を決めることができました。

Q1 会長は計画を作るにあたって「前
もってアンケート用紙を配ったので、とて
も参考になった。意外なものや面白いもの
もあり、具体的に記入してくれていた。」

Q2 会長になり半年が経ちましたが、どう
でしたか。「30人の意見をまとめる大変さ
が分かった。いろんな仲間がいて、違った
意見があるので、まとめることが大変だと
感じています。」

Q3 今年度はどんな会にしたいでしょ
うか。「仲間に話し合いに参加してもらえ
よう役員たちとも意見を出し合っていてい
い。会長の私から、意見をいくつか出し
て、話し合いがスムーズに進むようにした
い。後から、意見にあがらなかったものを
言われて困ることがあるので・・・」

Q4 最後に、仲間たちにメッセージをお願
いします。「困ったことがあつたら、前
もって会長か副会長に話をして下さい
ね。」と話してくれました。



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第23号(通巻37号)
発行元 社会福祉法人わらしべの里
発行責任者 金坂 直仁
編集者 わらしべの家パソ工房
〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
電話 0282 27 1627
Fax 0282 27 1675
E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)
http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

3月11日に東北・関東地方で大
きな地震が起きた。地震の後の大
きな津波で福島県の原子力発電所
が壊れて電気がない。関東地方は
毎日のように3時間停電した。私
は、電気のおかげで便利な生活が
あったのだと実感した。地震が起
こるとガソリンがなくなつた。少
ないガソリンを入れるために道路
がとて渋滞した。価格がとんど
ん上がった。これからの日本は苦
しくなるのかと考えた。これから
は電気などのエネルギーも少なく
なり、新しいエネルギーの発明を
しないといけないなと思った。
このようなか、明るい話題も
あつた。本年度から新しく仲間1
名が入つた。33人の仲間たちで、
わらしべの家の生活を一緒に楽し
くスタートすることが出来た。
(範)

編集後記